NCIEC

ろう通訳カリキュラム

第１編：ろう通訳
過去、現在、未来

@ 2015 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

第1編：ろう通訳ー過去、現在、未来

各章のタイトルと順序

- ろう通訳の歴史的展開
- 基礎力、言語力、文化・コミュニケーション能力
- 通訳モデルと通訳方法
- 言語、文化、抑圧とろう社会のコミュニティ
- ろう通訳者かろうアドボケイトか

第1編:ろう通訳—過去、現在、未来

主要課題

- どのような知識やスキルが 必要か？
- 通訳養成プログラムにある従来のカリキュラムに加えてなぜ特別なカリキュラムが必要なのか？
- ろう通訳者が必要または有用なのはどのような場合か?
- どうすれば、ろう通訳者に対する社会の認識を改善できるか？

@ 2015 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

NCIEC

第1章:ろう通訳の歴史的展開

ろう通訳の始まり

- ろう者が通訳者としての役割を果たすようになったのはいつからか？
- 初期のろう通訳者の役割や働きはどんなだったか？
- 調べよう：歴史的な転換期

@ 2015 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

NCIEC

第1章:ろう通訳の歴史的展開

ろう通訳者: 歴史の概要

- 1683年にイギリスの植民地だったニューイングランド地方でマシュー・プラットというろう者が、妻のサラ・プラットの清教徒への改宗の儀式の際、彼女の手話を読み取り、教会の長老たちのために文字として書き、長老たちの書いた文章を手話にするという方法で通訳した(Carty, Macready & Sayers, 2009)。
- Forestal (2011): 伝統的に、ろう者はろうコミュニティにおいてさまざまな翻訳や通訳をしてきた (Bauman, 2008; Stone, 2007)。しかしろう通訳者が通訳業界において正式に通訳として認められたのはごく最近のことである。ろう者に最適な情報アクセスを提供するために聴通訳者とともに仕事する役割であると認識するようになった (Langholtz, 2004)。

第1章:ろう通訳の歴史的展開

ろう通訳者:歴史の概要

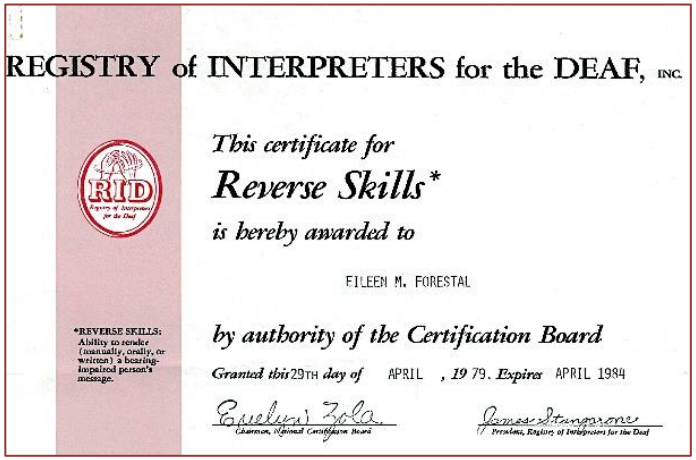
- 米国では大都市圏中心ではあるが、司法、医療、訓練・研修、会議、演劇、教育など、様々な場面でろう通訳者が活躍している。彼らは言語を変換する者として、音声言語や書記英語を、ASL・国際手話またはジェスチャー形式に置き換える仕事をしている。今では、ろう通訳者は、ろう者に通訳する場には必ず、またASL/英語の通訳が必要な場にもいるようになっている(Forestal, 2005)。
- ろう通訳には何世紀もの歴史がある。最古の手話の記録とされる紀元前427年ー347年以来、ろう者は互いにまた他人のために、通訳してきた(*Per Eriksson, The History of Deaf People*)。

@ 2015 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

第1章:ろう通訳の歴史的展開

RID Reverse Skills Certificate（RSC＝逆通訳資格）

- RSC認定資格は何年から何年まで与えられていたか？
- RSC認定通訳者の役割や仕事内容について述べよ。
- RSC認定資格を有する通訳者が通訳することは利用者にとってどのような効果があったか？
- RSC認定が廃止されるに至ったいきさつは？
- 米国のDeaf Caucus(デフ・コーカス)とはどのような団体か？
- かつてのリレー通訳と言われていた手法は現在なんと呼ばれているか？


REGISTRY of INTERPRETERS for the DEAF, INC.

RID

This certificate for

Reverse Skills*

is hereby awarded to

EILEEN M. FORESTAL

*REVERSE SKILLS: Ability to render (aurally, orally, or written) a hearing-impaired person's message.

by authority of the Certification Board

Granted this 29TH day of APRIL, 19 79. Expires APRIL 1984

Chairman, National Certification Board

President, Registry of Interpreters for the Deaf

NCIEC

第1章:ろう通訳の歴史的展開

通訳資格化について: 歴史の概要

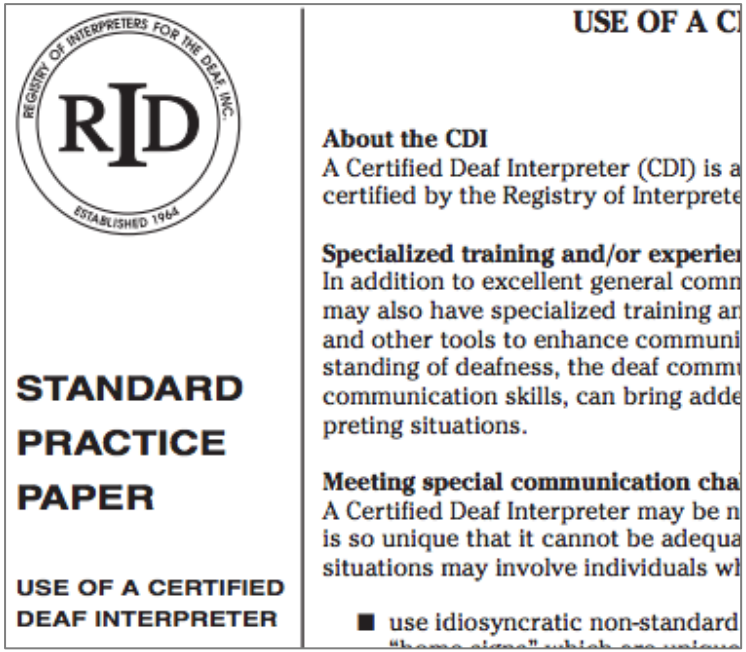
- RIDは1964年以来手話通訳者の全国試験と資格認定を実施してきた。1972年から1988年までRIDは逆通訳資格(RSC)認定を行った。その後は有資格ろう通訳者(CDI)のの試験や資格認定を実施している。
- 1980年代から2000年半ばまでは、NAD(全米ろう協会)が手話通訳者の全国試験と資格認定を行なっていた。1993年、RIDとNADは特別委員会を設け、その後両団体は新たな試験と認定制度を設け、合同で実施・運営することに合意した。
- 2005年に新しいNAD-RID全米通訳者資格認定(NIC)試験の実施が始まり、それに続いてNAD-RID専門職行動規範も新たに作られた。二つの団体は現在も協働している。

@ 2015 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

第1章:ろう通訳の歴史的展開

RIDの実践の指針(SPP):有資格ろう通訳者(CDI)の利用

- SPPに記載されている以外にろう通訳者が行う職務に何があるか？
- SPPではろう通訳の利用をどのように推奨しているか？
- SPPの改善されるべき点は何か？


REGISTRY OF INTERPRETERS FOR THE DEAF, INC.
RID
ESTABLISHED 1964

STANDARD PRACTICE PAPER

USE OF A CERTIFIED DEAF INTERPRETER

USE OF A C

About the CDI
A Certified Deaf Interpreter (CDI) is a
certified by the Registry of Interprete

Specialized training and/or experie
In addition to excellent general comn
may also have specialized training ar
and other tools to enhance communi
standing of deafness, the deaf comm
communication skills, can bring adde
preting situations.

Meeting special communication cha
A Certified Deaf Interpreter may be n
is so unique that it cannot be adequa
situations may involve individuals wh

- use idiosyncratic non-standard

NCIEC

第1章:ろう通訳の歴史的展開

RID CDI(RID有資格ろう通訳者)

- ろう通訳者/聴通訳者チームの利点は何か？
- CDIが通訳を担うことは、ろう、盲ろうの通訳利用者にとってどのように役立つか？
- ろう通訳者を目指す人、ろう通訳者として既に働いている人に必要な専門的訓練とは何か？
- ろう通訳者の役割や機能はどのような変化を遂げているか？
- ろう通訳者の専門性をさらに高め、専門職としての役割を拡大するにはどうすべきか？

@ 2015 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

NCIEC

第2章：基礎力、言語力、文化・コミュニケーション能力

主要課題

- ろう通訳者は自分自身について学ぶために、自分の成長期の経験をどう評価し活用するか？
- どのように基礎力はそれぞれのろう通訳者がろう通訳者として仕事ができるように準備するか？
- どのようなろう通訳のスキルが基礎力に支えられているか？

第2章：基礎力、言語力、文化・コミュニケーション能力

ろう通訳者

- 四つの重要なスキルとは何か？
- なぜ自分自身の偏見（バイアス）を分析することが大切なのか？
- どんな言語スキルが必要か？
- 様々なバイカルチュラル、バイリンガルの状況で無理なく自然でいられることがなぜ大切なのか？
- ろう通訳者の実践にとってどの分野がまず重要か？

第2章：基礎力、言語力、文化・コミュニケーション能力

基礎力

- あなたは、どういう時にASLまたはその他の手話に接するか？
- ろう者の様々な形のコミュニケーションに接したこれまでの経験はどのようなものだったか？
- これらの経験は、ろう通訳者としてのあなたにどう影響したか？
- なぜ個人的に苦労した経験（状況の把握、通訳者、コミュニケーション方法に関してなど）の分析は重要なのか？
- 差別、抑圧という個人的な経験がろう通訳者としてのあなたにどう影響しているか、またはしうるか？

第2章：基礎力、言語力、文化・コミュニケーション能力

言語、文化的能力

- あなたのASLのスキルは？：どういうところがネイティブ、またはネイティブらしいか？
- 他にも流暢にできる手話があるか？
- ASLの語用論的および社会言語的な特性を自然に使えるか？
- ASLのレジスター、ジャンル、バリエーションを広い範囲にわたって巧みにかつ柔軟に通訳できるか？
- 上記の領域で能力をどう伸ばすか？

@ 2015 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

第2章：基礎力、言語力、文化・コミュニケーション能力

言語、文化的能力

- 付録にある、ASL、視覚的なジェスチャーコミュニケーション、ホームサインの評価水準について読む。
- ペアを組んで、生い立ちについて話し合い、そこで自身や相手の言語スキルを、評価水準を参考にして評価する。
- スキルの評価でわかったことについて話し合う。

@ 2015 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

NCIEC

第3章：通訳モデルと通訳方法

通訳モデルの展開とろう通訳者への適用

- ヘルパー
- 案内人/機械
- 言語ファシリテーター
- バイリンガル・バイカルチュラル媒介者
- アライ（理解しあい、協働できる人）

@ 2015 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

NCIEC

第3章：通訳モデルと通訳方法

ろう通訳者が最も多く使う方法は？

- 同時通訳
- 逐次通訳

様々な通訳プロセスのろう通訳者への適用？

- 通訳
- トランスリテレーション
- サイト（テキスト）トランスレーション
- ミラーリング（舞台通訳等で行われる）

@ 2015 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

NCIEC

第4章: 言語、文化、抑圧とろう社会

個人の経験:ろう通訳者の効果性や実践に影響する

- 差別
- 抑圧
- コミュニケーションアクセスの欠如

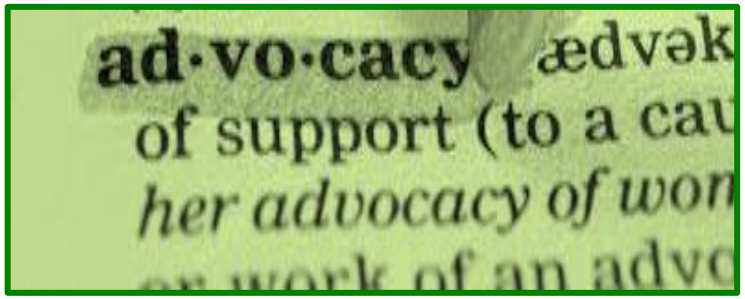
ろう通訳者は、通訳利用者の経験に同調してしまいやすいという過ちをどう調整できるか？

@ 2015 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

第5章：ろう通訳者か、アドボケイト（代弁者）か？

自己分析

- アドボカシー（理解し、権利を擁護する）とはどういう事か？
- ろう通訳者はアドボカシーも仕事に含めるか？
- あなたはろう通訳者になりたいか？それともアドボケイトになりたいか？
- あなたのろうコミュニティの中での役割はろう通訳者としての仕事にどう影響しうるか？



NCIEC